

無事故のまちを願って



1月17日(水)に西美濃農業協同組合(大垣市)より、飛び出し注意看板49台を寄附いただきました。近沢一成常務理事は「町内に設置されているもので、いくつか経年劣化して交換する必要があるものが出てきていると思います。子どもたちの安全のために活用してください」と話し、川地憲元町長は「区長と養老地区交通安全協会と協力し、通学路をはじめとした交通量の多い道路や見通しの悪い交差点などに設置することで、ドライバーに向けて注意喚起していきたいと思います」と応えました。

町のために自分たちにできること



1月22日(月)に全建総連岐阜建設労働組合養老四支部より、町へ10万円を寄附していただきました。森島要支部長は「お世話になっている町の役に立ちたいという思いから、今回の寄附に至りました。能登半島で発生した地震における被災地の状況が連日報道されていますが、町で災害が発生した際には、当支部としても建設業者としてのノウハウを生かし、災害応急対策活動などにおいて協力したいと思います」と話しました。

いただいた寄附は、町の発展のために有効に活用させていただきます。

チームで繋ぐボールとおもい



多治見市で開催の第42回岐阜県小学生バレーボール新人大会へ出場する養老LEOジュニアと池辺バレーボール少年団の激励会を1月17日(水)に行いました。田中一也副町長が「これまでよりも大会のレベルが上がり、強い相手と対戦することとなると思いますが、練習の成果を発揮して活躍してくれることと期待しています」と選手たちを激励し、選手たちは「まず1勝を目指します」「大きな声を出し、プレッシャーに負けないように強気で挑みます」「監督や家族など、お世話になっている人たちを東海大会へ連れていくために優勝を目指します」と各々に意気込みを話しました。

同大会では、池辺バレーボール少年団が優勝、養老LEOジュニアが3位入賞し、2月15日(木)に両チームによる報告会がありました。池辺バレーボール少年団は静岡県で開催される東海大会へ出場します。

結成60周年、スポーツのまちを後押し



養老ライオンズクラブが結成60周年の節目を迎えたことを祝い、記念事業の一環として養老町と海津市のスポーツ少年団に対してスポーツ用品が贈呈されました。

1月27日(土)に町総合体育館にて贈呈式が行われ、同クラブから町内すべてのスポーツ少年団(14団体)に対し、スポーツ用品が贈呈されました。スポーツ少年団を代表して、養老ソフトテニススポーツ少年団がテニスボールとエアポンプを受け取り、感謝の言葉を述べました。贈られたスポーツ用品は、子どもたちの健全育成のために、各スポーツ少年団で大切に使用されます。